

# 日本周産期・新生児医学会 第30回周産期学シンポジウムの開催案内

テーマ：長期予後からみた出生前診断症例における周産期管理の再評価

会長：松田義雄（東京女子医科大学産婦人科・母子総合医療センター教授）

会場：シェーンバッハ・サボー（東京都千代田区平河町 2-7-5 [砂防会館] TEL：03-3261-8390）

会期：2012年2月3日（金）～4日（土）

2月3日（金） 16：00～18：00

## プレコングレス

座長：松田義雄（東京女子医科大学産婦人科・母子総合医療センター）

1. 東日本大震災でわれわれに何ができたか  
久保隆彦（国立成育医療研究センター周産期センター産科）
2. 日本産科婦人科学会周産期登録データベースの現状と問題点  
佐藤昌司（大分県立病院総合周産期母子医療センター）
3. アンケート調査からみた新生児フォローアップと周産期データベースの現状と問題点  
伊藤裕司（国立成育医療研究センター周産期センター新生児科）

2月3日（金） 18：15～20：00

懇親会（シェーンバッハ・サボー「利根」）

2月4日（土） 9：00～16：45

【シンポジウム 午前の部】 9：00～12：10「長期予後からみた出生前診断と治療」

座長：中井章人（日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科）

与田仁志（東邦大学医療センター大森病院新生児科）

1. 胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術が施行された双胎間輸血症候群の予後と予後影響因子の検討  
難波由喜子（国立成育医療研究センター周産期センター，東京小児療育病院小児科）
2. 極低出生体重での出生が予測された胎児発育不全児の出生前超音波所見と神経学的予後の関連についての検討  
松下 充（聖隷浜松病院総合周産期母子医療センター産科）
3. 母体及び胎盤臍帯要因で極低出生体重児として出生した重度胎児発育不全児の3歳時の精神運動発達  
森岡一朗（神戸大学大学院医学研究科小児科）
4. 長期神経学的予後からみた重度胎児発育不全の周産期管理の検討  
前出喜信（鹿児島市立病院総合周産期母子医療センター新生児科）
5. 長期フォローアップからみたNICU退院児とその家族の支援  
永田雅子（名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター母子関係援助分野）

【ランチョンセミナー】 12：20～13：00

成人先天性心疾患の現状と展望

丹羽公一郎（聖路加国際病院循環器内科部長，日本成人先天性心疾患学会理事長）

（後援：ファイザー株式会社）

**【シンポジウム 午後の部】 13:15～16:45「長期予後からみた出生後の治療」**

座長：光田信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科）

増本幸二（福岡大学病院総合周産期母子医療センター小児外科）

6. 当院における先天性横隔膜ヘルニアの合併症と予後  
伊藤美春（名古屋大学附属病院周産母子センター小児科）
7. 当科にて出生前診断された先天性横隔膜ヘルニアの長期予後  
永田公二（九州大学大学院医学研究院小児外科）
8. 新生児期に手術を要する重症先天性心疾患3疾患の発育・発達に関する検討  
小松篤史（長野県立こども病院産科）
9. 当院で出生前診断された小児外科疾患の長期予後  
小西祥平（長野県立こども病院新生児科）
10. 胎児期に診断された羊水過少を伴う尿路通過障害の児の長期予後  
一腎機能と下部尿路機能およびQOLに関して  
石井桂介（大阪府立母子保健総合医療センター産科）
11. 出生前診断による親の妊娠・出産・育児体験への影響  
中込さと子（山梨大学大学院医学工学総合研究部成育看護学）

シンポジウム参加費：

会員および医療従事者               ：8,000 円

看護師，保健師および助産師       ：4,000 円

学生および大学院生                 ：無料（必ず身分証明書を呈示してください）

なお，事前登録受付は行いません。当日，会場での参加受付（現金での集金のみ）となります。

懇親会参加費：4,000 円（当日受付にてお申し込みください）

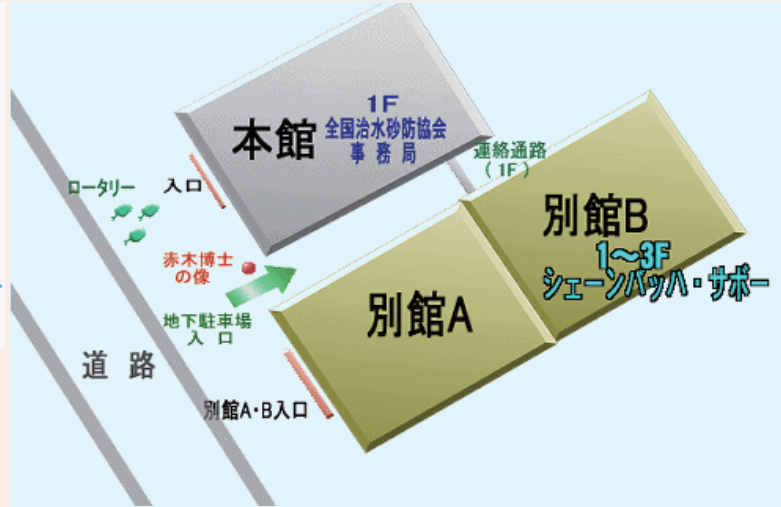
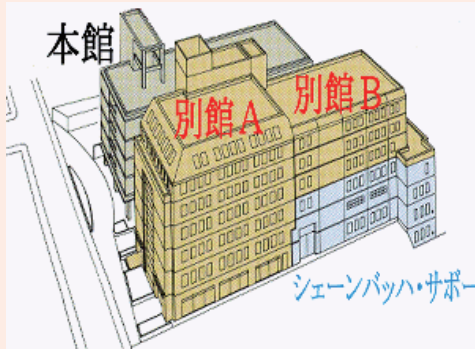
事務局（連絡先）：東京女子医科大学 産婦人科・母子総合医療センター

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

TEL 03-3353-8111（代表） FAX 03-5269-7615

E-mail：jspm2012@gmail.com

## 砂防会館 会館図



## 砂防会館 アクセスマップ 周辺地図

住所 東京都千代田区平河町2-7-5 (本館) TEL: 03-3261-8386 (代表)

最寄駅 地下鉄永田町駅 (有楽町線・半蔵門線・南北線) 4番出口 徒歩1分



(C) JAPAN SABO ASSOCIATION 2009